

令和6年3月 南魚沼市議会定例会
一般質問順位表

質問順位	議席番号	質問者	日程
1	11	塩川裕紀	11日 (月)
2	4	目黒哲也	
3	8	永井拓三	
4	5	梅沢道男	
5	1	黒岩揺光	
6	14	寺口友彦	
7	2	川辺きのい	12日 (火)
8	6	田中せつ子	
9	10	吉田光利	
10	18	牧野晶	
11	9	勝又貞夫	
12	15	中沢一博	13日 (水)
13	13	佐藤剛	
14	3	大平剛	
15	19	桑原圭美	
16	7	中沢道夫	
計		16名	

【質問方式】（質問制限時間は、いずれも答弁時間を含め 60 分）

一括質問一括答弁方式： 全質問項目を一括して行い、答弁も一括して行う。
（初回は登壇して行い、質問回数は 3 回まで。）

一問一答方式： 質問及び答弁を一問ずつ行う。（ただし初回の質問は、登壇して最初の質問項目のみをまとめて行う。質問回数に制限なし）

複合型一問一答方式： 一問一答方式において、質問大項目の最初の質問はまとめて行い、以降は一問ずつ行う。（質問回数に制限なし）

質問 順位	質問 内 容
1	12か所の地域づくり協議会の活用について
議席	
11	
塩 川 裕 紀	<p>全国的に高齢化が進み、買物難民、移動手段の問題、単身高齢者の孤立などが、市でも喫緊の課題となっている。そこで、現在12か所ある地域づくり協議会を地域コミュニティの中心として、高齢者、若者、子供たちの集いの場をつくり、地域の活性化に取り組む必要があると思う。</p> <p>(1) 高齢者の買物サポートや、元気につながる地域づくり協議会の活用の考えは。</p> <p>(2) コミュニティ・スクールも含め、地域の若者、子供たちに関わりやすくする施策の考えは。</p> <p>(3) 12か所の地域づくり協議会を結ぶ交通網をつくり、高齢者の通院、買物、公共機関等への移動手段を確保する考えは。</p> <p>(4) 地域づくり協議会の利便性、活性化を図るためにも、市全体で地域に根差した統一地域ポイントを導入し、子育て支援や高齢者の見守り、健康ポイント、ボランティア機能など、市行政の横断的な取組が必要ではないかと考えるが、市長の考えを伺う。</p>
(一問一答方式)	

質問 順位	質問 内 容
2	伝統的な祭りの継承について
議席	
4	
目 黒 哲 也 (一問一答方式)	<p>全国的に祭りの多くは自治体からの補助を受け運営されており、資金不足や担い手不足などの要因で消滅する祭りがコロナ禍を契機に増えてきている。</p> <p>祭りは、地域のあらゆるコミュニティを横串で刺せる唯一のコンテンツであり、地域のアイデンティティである。</p> <p>祭りが消滅すれば、地域が一体となる機会が失われ、地域の分断を招き、やる気や活気にあふれる場がなくなれば、地域の衰退となりかねない。</p> <p>市内には多くの伝統的な祭りがあるが、地域らしさの象徴である祭りをいかに継承するかが、市の未来にとっても大切なことだと考える。</p> <p>(1) 前身の六日町雪まつりから70回近く続いてきた南魚沼市雪まつりの廃止が1月19日、突然、市観光協会のホームページで公表された。廃止決定に至る経緯を伺う。</p> <p>(2) 祭りとは、単なる一過性のイベントではない。そこには自然や歴史、社会の影響を受けながら今日まで受け継がれてきた空間的・時間的厚みがあるからこそ、継続する価値があると思う。今後の祭りの存続について伺う。</p> <p>(3) 予算や担い手不足の課題を解決するには、地域だけではなく、行政職員も一緒になって積極的に祭りに関わっていく必要があると思うがどうか。</p>

質問 順位	質問 内 容
3	雪を使った健康増進と共通リフト乗車証について
議席	
8	
永 井 拓 三 (一問一答方式)	<p>市は雪国らしい施策を雪で展開している中で、健康増進に関する施策も雪を使った運動を推進することで向上すると考えられる。</p> <p>また、雪を固有の資源として観光・環境・エネルギー施策として生かしている。</p> <p>一方で市民のスキー離れは著しく、雪国であるにもかかわらずスキーをしない人たちが増え、雪国の伝統ともいべきスキー文化が衰退してしまうことが懸念される。</p> <p>これでは雪を利活用した施策も市民の理解を得るには道のりは長くなってしまふ。</p> <p>(1) アルペンスキー・スノーボード・クロスカントリースキーなどの雪国ならではのスポーツを生涯スポーツにしようという独自施策はあるか。</p> <p>(2) 上記スポーツと健康に関する調査または研究を行ったことはあるか。または行う予定はあるか。</p> <p>(3) 共通リフト乗車証について、これまでの購入可能な範囲を広げてはどうか。</p> <p>(4) 観光面も考慮し、市内全てのスキー場のリフト券をIC化してはどうか。</p> <p>(5) 除雪も健康につながるといわれているが、それに関する施策案はあるか。</p>

質問 順位	質問 内 容
4	<p>1 自民党の一部派閥による裏金問題に対する認識と今後の対応は</p>
議席	
5	
梅 沢 道 男 (一問一答方式)	<p>(1) 今回の裏金問題は、市民にも大きな政治不信を巻き起こし、県政や市政に与える影響も懸念される。市民の政治に対する期待や信頼の醸成のためにも、この問題に対する徹底究明と再発防止策の確立が求められると思うが、市長の認識を伺う。</p> <p>(2) この問題は政治不信ばかりでなく、政治家による脱税ではないかとの指摘から、国民の納税意欲にも大きな影響を与えており、市政への影響が懸念される。この裏金問題が、市民の納税意欲に与える影響とその対策について、市長の認識を伺う。</p> <p>(3) この状況を早く克服するためにも、市長として、県の市長会での意見書採択等に向けて、積極的に取り組むべきと考えるが、市長の認識を伺う。</p> <p>2 会計年度任用職員制度に対する市長の認識は</p> <p>(1) 会計年度任用職員制度の導入により、これまでの臨時、非常勤職員は、正職員と同様に正規の公務員として位置づけられたものとするが、市長の認識を伺う。</p> <p>(2) 総務省は、会計年度任用職員の給与の取扱いについて、改定の実施時期も含め、当該常勤職員の給与の改定に係る取扱いに準じて改定することを基本とすると指導している。現状の期末手当の支給率は、正職員と会計年度任用職員で差が生じているが、この考え方について伺う。</p> <p>(3) 南魚沼市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の附則により、当分の間、遡及適用を行わないこととなっているが、この附則制定に至った理由について伺う。</p>

質問 順位	質問 内 容
5	<p>1 市の元幹部職員が不同意わいせつ罪で起訴されたことについて</p>
議席	
1	
黒 岩 揺 光	<p>女性にとって魅力ある市であるために、そして市役所の女性にとって働きやすい職場にするためには、今回のような事件は絶対に起こしてはならない。</p> <p>(1) この事件が今後の市政にどのような影響を与えると考えているか。</p> <p>(2) 元幹部職員は過去 10 年間に懲戒処分を受けたことがあったか。</p> <p>(3) 被害者が市の女性職員だと報道されているが、元幹部職員が働いていた部署等で同様の被害があったか、調査する予定はあるか。</p> <p>(4) 市がこの事件を最初に把握してからの対応を時系列で伺う。</p> <p>(5) 市長が市役所内でのハラスメント被害を今以上に把握できる体制づくりが急務と考えるが、見解を伺う。</p>
(一問一答方式)	<p>2 懲戒処分の指針や公表基準の見直しが必要ではないか</p> <p>他の自治体では報道機関に公表すると思われるような職員の不祥事案が、当市では公表されない事例が散見される。他市では、昨年、同僚の女性職員にハラスメントをした男性職員を停職の懲戒処分とし、報道機関に公表した。しかし、当市は過去 5 年間で、職場で後輩職員を殴り傷害を負わせたり、トイレにカメラを設置し警察から聴取されたり、住居侵入や窃盗容疑で逮捕された職員に懲戒処分が下されたにもかかわらず、報道機関に公表していない。不祥事を根絶するためにも、他の自治体並みに、懲戒処分の指針や公表基準を見直すべきではないか。</p>

質問 順位	質問 内 容
6	1 アピアランスケアについて
議席	アピアランスケア（がん治療後の外見の変化に対するケア）の相談・支援や専門的知識を持つケア提供者の育成など、体制づくりをどうするのか。
14	2 太陽光パネルリサイクル事業の企業誘致について
寺	太陽光発電設備への一部補助に併せて、太陽光パネルリサイクル事業を手がける企業を誘致すべきではないか。
口	3 雨水出水浸水想定区域図とハザードマップとの連携について
友	内水氾濫対策として、六日町・塩沢地区の雨水出水浸水想定区域図とハザードマップとの連携をどう考えているのか。
彦	4 英語検定受検料一部補助と学校との連携について
	生徒が語学力向上に意欲的に努めることを期待し、英語検定受検料一部補助と学校との連携をどうするのか。
（一問一答方式）	

質問 順位	質問 内 容
7	住民が必要とする医療・介護の需要にどう応えるのか
議席	
2	
川 辺 き の い (一問一答方式)	<p>令和5年12月議会において、ゆきぐに大和病院の診療所化と訪問看護ステーションの設置に関する補正予算と条例改正が可決された。それにより、令和6年11月にゆきぐに大和病院は診療所としてスタートし、先行して4月にゆきぐに大和訪問看護ステーションを設置することとなった。条例改正に向けては、これまで以上に質の高い医療を提供していきたいと説明し、議会でも答弁した。また、地域住民の「生きる」を支え続けるを目指して地域医療の体制を築いていきたいと病院だよりでも繰り返し発信している。</p> <p>(1) ゆきぐに大和診療所、ゆきぐに大和訪問看護ステーション、ゆきぐに大和ホームケアステーションの3つの機能を柱とした大和地域包括医療センターとして生まれ変わるとのことだが、その設置準備の進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 機能転換により、回転率を向上、退院時の回復レベルの向上、若干の増床と訪問診療の在宅医療を補完することで、ゆきぐに大和病院に今ある45床の入院機能がなくなっても、これまで以上に質の高い医療を提供できるとの説明が繰り返しあった。 ゆきぐに大和病院に入院している人、市内全体の在宅診療・看護を受けている人や在宅で介護している人の声や実態を踏まえたものか。</p> <p>(3) 本気で地域住民の「生きる」を支え続ける体制を構築していきたいと考えるのであれば、ゆきぐに大和病院の診療所化を撤回して、病院として残すよう最後まで努力することに腹を据えるべきと考えるが。</p>

質問 順位	質問 内 容
9	<p>1 大規模火災対策について</p>
議席	
10	
吉 田 光 利 (複 合 型 一 問 一 答 方 式)	<p>能登半島地震は甚大な被害・影響を与え、地震に伴って輪島市の朝市通りで出火した大規模火災は、およそ 300 棟に延焼したとみられている。平成 28 年に 147 棟焼失した糸魚川市大規模火災、昨年 9 月魚沼市で 9 棟全焼の火災は、いずれも家屋の密集地での火災である。市民の安全確保のために、火災予防や延焼を最小限に抑える備えが重要と考える。</p> <p>(1) 大規模火災に備えた特別な予防対策の取組は。</p> <p>(2) 初期消火対応や延焼防止策は。</p> <p>2 デジタル地域通貨について</p> <p>国の政策の下、市も昨年 D X 推進室を設置し、デジタル社会の推進を図っている。</p> <p>地域の商工業の活性化と市民の利便性を考えると、統一したデジタル地域通貨の導入が有効な方法といわれている。</p> <p>(1) D X 社会の推進として、地域経済活性化を図るためデジタル地域通貨の導入に対する取組状況は。</p> <p>(2) 行政がリーダーとなり、南魚沼市全体で統一したデジタル地域通貨の導入を目指すべきと思うが。</p>

質問 順位	質問 内 容
1 1	1 防災計画の見直しについて
議席	
9	
勝 又 貞 夫	<p>能登半島地震の前と後では、自然災害についての認識がかなり変わったといわれている。大きな建物が横倒しになり、家屋や電柱が倒れ、道路は大きくひび割れ、避難計画のとおりには機能しないことが分かった。外部からの応援も現地に入れなかったところがかなりあったと報道されている。志賀原発においても想定外の状況が発生していたとのニュースもあった。</p> <p>(1) 新潟県議会において、防災計画の根本に疑問符がついたと言われている。市の防災計画も様々な点で見直しが必要と思うが、現時点ではどのように考えているのか。</p> <p>(2) 柏崎刈羽原発の危険性に対する空気感が、能登半島地震の前と後では全然違うと言われているが、市長の考え方は、今までと変わってきているか。</p>
(一 問 一 答 方 式)	<p>2 ふるさと納税について</p> <p>ふるさと納税の取組を始めた当初では考えられなかったほどの成果が上がっている。これは、担当の努力と豊かな発想によるものと認識している。</p> <p>(1) この事業の発展・拡大が可能であるとすれば、そのための戦略は何か。</p> <p>(2) ふるさと納税寄附金の使い道はそれぞれ分類されているが、適切に使われ、目に見える成果として結実しているか。</p> <p>(3) 寄附金の使い道については、農業分野に力点を置くという考え方があってもよいのではないか。</p> <p>(4) 寄附金に対する返礼品の工夫と、礼状の発送は適切に行われていると思うが、リピート率はどのくらいで推移しているか。</p>

質問 順位	質問 内 容
15	小学生のネット依存と学力の相関性について
議席	
19	
桑 原 圭 美 (一問一答方式)	<p>スマホの利用が低年齢化し、GIGAスクール構想によって小中学生に一人一台の情報端末が配布されるなど、子供たちがインターネットを利用する機会が増加している。</p> <p>ネット環境の整備が進み、学習利用だけではなく、ゲームや動画に触れる時間が格段に延び、家庭での生活環境に影響を与えるまでになった。</p> <p>約3年続いたコロナ禍は、ネットリテラシーやネット依存を危惧しなければならない状況を生み出している。</p> <p>市の小学生のネット使用時間は県内でも高い水準になっており、学習面への影響を看過できなくなっている。</p> <p>小学生のネット使用に関し、伸ばせる部分と規制しなければならない部分を明確にして、対策を取るべきである。</p> <p>(1) 小学生のネット依存を市の教育現場の大きな問題の一つだと考えているか。</p> <p>(2) 小学生のネット使用時間と学力の相関性はあると認識しているか。</p> <p>(3) ゲーム障害という定義があるが、当てはまる児童がどの程度いるか。</p> <p>(4) ゲーム障害を含めたネット依存の子供は、どのような状況に陥っているか。</p> <p>(5) ネットの長時間使用の規制を家庭に任せていても、現実的に難しい。子供たちを守るために、市で強制力のある条例を制定するべきではないか。</p>

質問 順位	質問 内 容
16	能登半島地震の発生を受けて市の対応と市長の見解は
議席	
7	
中 沢 道 夫	<p>能登半島地震は、これまでの経験値では計り知れない甚大な被害となっている。避難所での食料や物資の不足、土砂災害によって多くの集落が孤立状態になるなど、これまでの想定をはるかに超える災害となった。</p> <p>また原発の危険性も新たに浮き彫りになった。</p> <p>(1) 避難者の大変厳しい状況が報道されているが、市として地域防災計画の見直しを行う考えはないか。</p> <p>(2) 柏崎刈羽原発の再稼働について</p> <p>① 今回の地震を受けて、原子力規制委員会では、原子力災害が発生した際のUPZ内の住民への屋内退避の見直しを行おうとしているが、市長はどのように受け止めているか。</p> <p>② これまでも原子力災害が発生した際の安全な避難については様々な議論があったが、規制委員会が見直すことになれば、結論が出るまでは柏崎刈羽原発の再稼働の論議はできないのではないか、市長の見解は。</p> <p>③ 大雪の際の複合災害では安全な避難など考えられないと思うが、柏崎刈羽原発の再稼働をしないよう求めていく考えはないか。</p> <p>(3) 今回の地震では多くの家屋が倒壊し、下敷きになった犠牲者も大勢いた。住宅の耐震改修は大きな対策になるが、耐震改修補助費を引き上げる考えはないか。</p>
(一問一答方式)	